

## あす全国小学生バレー

# 宮城で激励の笛を

## 三重から審判4人派遣

県小学生バレーボール連盟が、東日本大震災で被災した宮城県で二日に開かれる「全日本バレーボール小学生大会」県予選に審判員四人を派遣する。審判員らは「県予選を開けば、子どもたちに全国大会の道をつくれる」と寄せ書きと新品のボールを手に現地入りする。(高木梨恵)

岩手県や宮城県などの被災地では体育館が避難所になり用具やユニホームが流された。

家や家族を失った選手、役員もいるが日本小学生バレーボール連盟の支援で県予選は開催されることに。

同連盟は五月下旬に各都道府県連盟に審判

員の支援を依頼。三重県連盟の石井雅子審判委員長が資格を持つ県内の会員に声を掛け、松阪支部の石川晴美さん、服部弥生さん、村田一暢さんの三人が手を挙げた。

石井さんらは一日夜に三重県を出発。二日朝に現地に到着し、そ

のまま予選会場の加美町の体育館で審判を務める。全国から計十六人の審判が応援に駆けつけるが、三重県が最も多いという。

石井さんは「三月十日まではみんな県予選に向けてバレーを頑張っていた。良い大会にして子どもたちに元気をあげたい」と話している。



バレーが大好きな被災地の子どもたちを思いやる石井さん＝津市芸濃町で